平成 31 年度（令和元年度）

学校法人 ILP 学園　ILP お茶の水医療福祉専門学校

自己評価及び学校関係者評価報告書

令和 2 年 6 月 1 日

１．学校の教育目標

『学校法人ＩＬＰ学園』の「ILP」とはI Love Peopleの意味で、人々を愛し愛されることを基本方針として、豊かな人間性を涵養するとともに、医療福祉の礎を築く専門的知識と技能を備えた有能な人材を育成し、以って 21 世紀の福祉社会に貢献することを目的とする。

２．重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育目標に則り、次の二つの分野の目標を柱に学生支援を行う。

【教育】

◆医療・福祉に係わる資格の取得を目標として“全員受験・全員合格・全員就職”をモットーとする。

◆現在取り組んでいる学科ごとの取得設定目標を、更に明確にし、学生に自覚させ各種資格取得の合格率を 100％とする。

※福祉→・国家資格である「社会福祉士」「精神保健福祉士」「保育士」の取得、本校は社会福祉主事養成指定校の為、卒業時に「社会福祉主事任用資格」の資格を付与している。

※医療→・日本病院会認定資格である「診療情報管理士」の取得。

・診療報酬請求事務能力認定試験を最終目標とし、医療事務職で即戦力となる必要な資格やスキルの取得。

【就職】

◆医療福祉への業界就職率 100％を維持する

・信頼される医療・福祉のスペシャリストになるにふさわしい人間性を体得するため、その前提となる挨拶運動の励行等を通じ、コミュニケーション能力の向上に努めている。また教養演習の科目(クラス担任による授業)を通じて、「基礎学力の向上及び自分を理解すること」「相手の立場を理解し行動できる」人材の育成に努めている。

３．評価項目の達成及び取組状況

(1)　教育理念・目標

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
・学校における職業教育の特色は何か。	4
・学校の将来構想を抱いているか。	3
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・理念・目標について、本校の大きな柱である「全員受験・全員合格・全員就職」をロビーに掲げ、本年度もほぼ目標を達成できた。またこれらの周知徹底については例年実施の入学式での保護者説明会（保護者)、入学式翌日のオリエンテーション・宿泊研修（新入生)、学期初めのオリエンテーション（進級生)、各科担任等による「教養演習」、「キャリア教育」の講義において、目標等がぶれないよう指導の強化を行なった。

・「瞬間は習慣で決まる」という言葉通り、日々の習慣を大切にさせた。

・医療福祉で必要とされる最先端の知識と技術を、学生一人ひとりが着実に身に着けることを目的に、現場体験のできる実習や講演、卒業生講和等、学内外における実践的で多彩な取り組みを行なった。

・保護者に研究発表会や卒業式等の案内状を送付し列席を促し、多数の参加を得ることが出来た。

・保護者向けに学校通信 Vol.4 を発行し、5 月下旬に発送した。Vol.5 は令和 2 年 5 月下旬に発行予定。

【学校関係者評価委員会意見】

自己点検の評価については各委員同意した。

（2） 学校運営

評価項目	評価
・理念・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規則等は整備されているか	4
・教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・運営や諸事業の社会的説明責任を果たし、公正かつ透明性の高い運営を実現し、職員による自律的な運営と教育研究の質の向上に資することを目的として、積極的な情報公開に努めた。また円滑な運営のため、朝礼終礼全体会議等を通し情報を共有し、学生管理、職員の動向等の情報も共有し運営した。

・コンプライアンスを法令遵守のみならず、本校の社会的責任や倫理も踏まえた幅広い概念と捉えており、職員一人ひとりが高い倫理観と使命感のもと日々の業務に力を注いでいる。

・業務の効率化に関しては、従来の業務の流れや発送文書等、随時見直しを行ないながら改良に努め、より正確、迅速な業務遂行に繋げた。

・医療・福祉業界、専門学校の動向や社会情勢に対応すべく、様々な研修会に積極的に参加した。詳細は以下の通り。

・令和元年 6 月　診療情報管理士教育事業に関する説明会
・令和元年 6 月　日本社会福祉学会 九州部会研究大会
・令和元年 9 月　日本社会福祉学会 第 67 回秋季大会
・令和元年 10 月 日本ソーシャルワーク教育学校連盟九州ブロック 社会福祉士養成研修会
・令和元年 10 月 高等教育の修学支援新制度説明会
・令和元年 11 月 福岡県精神科病院協会 福岡県精神保健福祉士協会 合同研修会
・令和元年 11 月 ICD-11 研修会
・令和元年 11 月 福岡県私立専修学校・各種学校事務担当者研修会
・令和元年 12 月 第 49 回全国社会福祉教育セミナー2019 in 愛知
・令和 2 年 2 月　2019 年度 日本学生支援機構連絡協議会

ほか

【学校関係者評価委員会意見】
自己点検の評価については各委員同意した。

（3） 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に構成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・キャリア教育・職業教育に関しては、医療機関・福祉施設という明確な就職先に向け、実績を積み重ねている。キャリア教育授業は平成 30 年度より実施している。令和元年は各学科１年生前期に２学科ずつ合同で行った。また、進級生オリエンテーションにおいては平成 30 年より引き続き、卒年生意識向上の一環とすべく卒業生講話を行う。平成 31 年新入生合宿においては昨年に引き続き外部講師によるマナー研修を行なった。今後も外部からの評価や、より専門的な講師の派遣などを通じ、さらなるレベルアップを図っていく。

・関係省庁により教員資格要件が認定されているため、充分なレベルの教職員を確保できているが、より一層のスキルアップを目指し、教職員の外部研修の受講や国家資格取得を奨励している。

・授業アンケートについては、平成 30 年度の様式変更により、学生からのコメントやそれ

をうけた講師からの返答ももらえるようになった。両者からのフィードバックを集約できるようになり、更に有意義なものとなった。
・職員および非常勤講師からなる①診療情報管理学科会、②福祉学科会、③医事学科会を令和元年度にも運用した。今後の業界の動向を見据えた盤石なカリキュラムの編成、教育内容の検討、資格取得、学生指導における情報の共有化を図っている。

《各学科より》

※診療情報管理科…　診療情報管理学会学術大会：学生セッション 66 演題の中、4 演題でエントリーし、1 演題が「審査員特別賞」を受賞。
夏季と冬季に診療情報管理士認定試験対策として各 3 日集中講義を実施した。
IT を利活用するすべての社会人・学生が備えておくべき IT に関する知識が証明できる国家試験として「IT パスポート」試験を導入した。

※医療秘書科…　診療報酬請求事務能力認定試験の合格率向上のため、令和元年度より 1 年次生向けに夏季集中講義を実施。医療秘書科だけではなく、医療事務科、診療情報管理科との 3 学科合同でとり行った。
試験本番前には 2 度合同模試を実施。実力の検証、課題の発見の他、体感することで〝慣れ〞させることを目的とした。

※福祉総合学科…　卒業生を対象とした国家試験対策：全 20 回実施（うち 2 回は全国模試）。日曜日に無料で行っている。仕事等で参加できない卒業生に対しては、資料等を郵送し対応した。また、平日試験勉強に来校した卒業生には空き教室を開放した。

【学校関係者評価委員会意見】
自己点検の評価については各委員同意した。

（4） 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	4
・退学率の低減が図られているか	4
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・就職試験、面接指導等、就職に向けての指導を十分に行った。

・卒業生相互の交流の他、在校生との交流も図るべく同窓会を形成している。今後さらに発展させ、教育活動への改善や、就職活動への活用を図っていく。全学科の卒業生に積極的に参加してもらえるよう、各担任から卒業生への案内を行なっている。平成 30 年 2 月 17 日に第一回同窓会を開催し、懐かしい同窓生と相互間の交流が図られた。今後も同窓会を開催していく予定。

【学校関係者評価委員会意見】

・同窓会会長でもある宮﨑様より、「会則改正した後、活動ができていない。仕組みづくりをしなければならないので、4 月に委員会を開催する予定。卒業式・入学式にはスタンド花を、卒業式には電報を同窓会から出している」とのこと。

・自己点検の評価については各委員同意した。

（5） 学生支援

評価項目	評価
・就職・進学指導に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生の経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・昨今の経済的事情を鑑み、様々な本校独自奨学金、学費サポート、分割納入制度等を整備した。

・また、令和元年に申請した結果、令和 2 年 4 月からはじまる「高等教育の修学支援新制度」（授業料等減免・給付型奨学金）の対象校になった。

・就職活動については、クラス担任が中心となり指導・支援を行い、令和元年度も就職率100%を達成した。学生の遅刻や欠席に関しては、毎朝教員が校内でチェックする体制をとっていると同時に、授業態度等は毎日職員の終礼会議において、報告・確認をし、全職員情報共有をした。学生問題に関しては保護者とも連携し、退学を未然に防ぐ体制をとっている。その結果、本年も低い退学率を維持した。

・学生の悩みや相談を心理面から支えるため、スクールカウンセラーによる「こころの相談室」を設け、支援体制をとっている。令和元年度は 1 回実施した。

・成績・出席の状況について学校より保護者に連絡しており、特に状況が芳しくない学生の保護者に対しては詳しく説明をしている。また、優秀な学生に対しては進級生オリエンテーションの場（学年全員）で、チャレンジ制度表彰（表彰状と報奨金）をした。

・本校は医療福祉専門学校という特性上、職員に看護師資格をもつ講師を配置し、不測の事態に備えている。

・部活動等の課外活動に対しては、道具や練習場等必要に応じて支援している。

・実習の際は、実習先への電話連絡だけでなく、直接訪問し、学生の情報交換や状況把握を行なっている。また、学生と話す時間も設けていただき、双方の情報収集をするよう心掛け

ている。

【学校関係者評価委員会意見】
・「こころの相談室」は個人で手をあげて申し込むのか？とのご意見があった。これに対し、「まずは担任が面談をし、カウンセラーにつないだ方が良いという場合、また本人がカウンセラーとの面談を希望した場合、カウンセラーにつないでいる」と回答した。
・自己点検の評価については各委員同意した。

（6） 教育環境

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・防災に対する体制は整備されているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・昨年に引き続き P.C.やプロジェクター、T.V.など、教育機器に関しては対応してきたが、シュレッダーの故障やテレビへのニーズ増に対応しきれていないため、令和 2 年度は購入を検討したい。

・P.C.のバージョンアップおよびウイルス対策は都度行い、マルウェア感染に備えている。

・自転車通学希望者には、年度初めに対人・対物保険に加入しているか点検し、全員の加入を確認した。事故等の報告もない。

・傘の盗難防止のため、雨天時は学生に傘用袋を配布し、各自教室内で管理するよう促し、紛失防止につなげている。

・防災に関しては法令に基づき実施し、令和元年度も防災機器の安全点検と管理を行った。

・AED を導入し、職員研修を行った。令和 2 年度は学生への周知と取り扱いに関する研修を実施する予定。

【学校関係者評価委員会意見】

・「障害者差別解消法」が設立されたことを受け、学校において合理的配慮が必要な学生はいるのか？また対応はできているのかとの質問があった。それに対し合理的配慮が必要な学生には十分対応している旨を伝えた。

・AED 導入に関しては、取り扱いの研修をしっかりやるように意見があがった。

・コロナウイルスについて、ウイルス対策はしているのか？将来医療機関に就職する学生が多数を占めると思うので、医療機関での感染症委員会のようなものを予行演習として実施していた方がいいのでは？と意見があった。それに対し令和 2 年度は実施していくと回答した（令和 2 年 2 月 15 日時点）

・自己点検の評価については各委員同意した。

（7） 学生の受入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

◆学校は広報室を設置している。

<現状及び今後の方針>

・高校訪問や学校説明会、またオープンキャンパスにおける学校紹介、さらに H.P.や D.M.、パンフレット等を活用し、正確に情報が伝わるよう努めている。

・広報活動は福岡県内を中心に、九州全域・山口県を対象として行っている。また高校生・社会人に、教務の取り組み・成果を分かりやすく伝えることに注力し、広報活動を行っている。

・教務の成果こそが最大の広報活動という方針のもと、情報共有を徹底している。

・高校への出前授業や、PTA 活動の一環としての学校見学受け入れ、高校教員による学校見学会など実施しているが、今後さらに独自の工夫を重ね、職業教育の普及に努めたい。

・毎年、前年度の入学実績を分析し、その向上を図るべく、あらゆる側面から実施計画と予算を策定している。その計画と予算をもとに行動計画を立て実施している。

・令和元年度の動員数は昨年より 110%上回る見込み。教務と広報が一体となって、本校ならではのブランド力を強化することを中心に据えて次年度も活動する。

・学納金は、教育内容、社会状況、学生及び保護者の負担感等を考慮して設定され、また本校の独自の奨学金制度も利用できるようになっている。また令和 2 年 4 月から「高等教育の修学支援新制度」の対象校となり、経済的に厳しい学生をより支援ができるようになった。

・本校を選ぶ学生はイベントなどよりもしっかりしたカリキュラムを重視している傾向にあるが、昨年の課題として挙がったオープンキャンパス時の「楽しい」という気持ちを生み出せるよう、ビンゴ大会やイントロクイズなどを、キャンパス委員が中心となって行った。また、保護者説明会は本校独自の取り組みを行い、満足いただける努力を行なっている。

【学校関係者評価委員会意見】

・高校教員のための学校見学会はどんなことをしているのか？との質問があった。それに対し、進路指導の現場で役に立つような「職業理解」の内容に努めた旨伝えた。

・PTA 受け入れはどうやって実施したのか？との質問があった。高校側からの要請があり応じた旨伝えた。

・「高等教育の修学支援新制度」については認知度が低く、出席した全委員がこの制度を初

めて聞いたとのことで、「低所得世帯の進学率はとても低かったので、進学への大きな支援になるのでは」「とても優れた制度の対象校になってよかった」などの意見があがった。
・自己点検の評価については各委員同意した。

(8)財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・毎月公認会計士事務所からの会計処理チェックを受けており、会計監査が適正に行われている。

・少子高齢化対策として、外国人や社会人向けの通信課程、夜間開校等を計画し、財務基盤の安定化を図っていきたい。

・ホームページにて、貸借対照表、収支計算書、財産目録、事業報告書、監査報告を公表している。

【学校関係者評価委員会意見】

自己点検の評価については各委員同意した。

(9)法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
・自己評価結果を公開しているか	4

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・学生の情報に関しては、特に細心の注意を図り、シュレッダー破棄や鍵付き文書ロッカー等を使用し、個人情報保護を徹底している。

・ホームページにて自己評価及び学校関係者評価報告書の情報公開を行なっている。さらに「高等教育の修学支援新制度」に伴う情報公開も行っている。

・本年度も法令遵守には努めたが、今後職業実践専門課程の第三者評価をはじめ、大学と同等の評価義務が課せられる可能性や、また高等教育における、授業料免除や給付型奨学金の拡大など、教育に関する政策も刻々と変化している。これらに備えるためにも、問題点の整備・法令遵守、業務改善などが必須である。現在これらを踏まえ、更なる整備・改善に努めている。

【学校関係者評価委員会意見】

自己点検の評価については各委員同意した。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

<現状及び今後の方針>

・都市中心部の良好な立地条件を活かし、医療福祉機関及び関係団体への教室貸し出し等を行っている。

・福祉総合学科の学生を中心として、ボランティア活動に積極的に参加している。

・高等学校生徒の職業理解授業を行っている。

・月に一度、障害者支援施設の利用者が手作りのクッキー販売に来校している。学生との交流も図られ、障害理解の促進につながっている。

【学校関係者評価委員会意見】

自己点検の評価については各委員同意した。